

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

VOL.

13

2024.6.30

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」島根県立美術館蔵

Contents

ガバナー退任にあたって	2
地区運営を振り返って	3
地区ラーニングファシリテーター（DLF）を振り返って	4
ガバナー補佐退任挨拶	5
2023-24年度 ポリオプラス・ソサエティ（PPS）登録数 一覧表	10
ローターアクト地区年次大会 開催報告	11
2024年シンガポール国際大会 参加報告	12
RYLAセミナー 開催報告	13
新会員セミナー 開催報告	14
浜田ロータリークラブ創立65周年記念例会・祝賀会 開催報告	15
美作ロータリークラブ創立60周年記念式典・祝宴会 報告	16
倉吉ロータリークラブ創立70周年を迎えて	17

2023-24年度 シェアシステム 地区財団活動資金 （DDF）使用に関する報告	18
第6回諮問委員会・第4回ガバナー補佐会 他次第	19・20
地区だより・会員数報告（5月）	21・22
地区だより・会員数報告（6月）	23・24

Rotary
第2690地区



世界に希望を生み出そう



ガバナー退任にあたって

地区ガバナー

石倉 貞昭 Ishikura Sadaaki



人生に「if（もし）」はないが、ガバナー退任にあたり自分の「if（もし）」について考えてみた。

まず、1963年大学を卒業して就職したしまね信用金庫、1993年52歳で円満退職したが、「if（もし）」60歳定年まで勤めたとしても、ロータリークラブに入会することはなかった。よって、ガバナーはありえない。

1993年8月協和地建コンサルタント(株)の社長に就任して1年が過ぎた頃、ある非常勤取締役からロータリークラブ入会の誘いを受けた。未だ松江しんじ湖RCは存在していなかったため、入会クラブは松江、松江南、松江東の3クラブのいずれかとなる。「if（もし）」このとき入会していたら、ガバナーの可能性はなかった。

しばらくすると、松江に4つ目の新しいロータリークラブが誕生するので、新クラブにチャーターメンバーとして入会した方が良く、とのアドバイスがあり、1995年7月松江しんじ湖RCにチャーターメンバーとして入会することになった。

2009-10年度第15代クラブ会長を仰せつかったが、この年度のガバナーは松江東RCの葛尾信弘氏、色々話を伺っていると、次回第3グループからガバナーを輩出するのは松江しんじ湖RCであること、それは12～13年後であることがわかった。まだ大分先のことであり、現実味はなかったが、まず先立つものはお金ということで、毎年幾らかの積立を行なってガバナー輩出に備えてきた。

月日の経つのは早いもので、いつの間にか10年という歳月が流れ、2020年9月クラブにガバナー輩出の要請がきた。早速クラブ内のガバナー補佐経験者

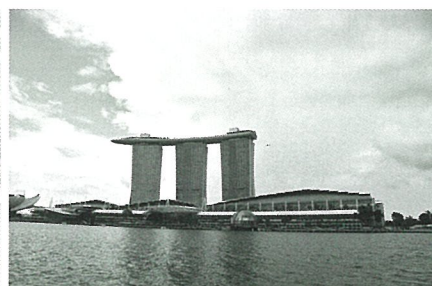
による選考委員会が立ち上げられ、私もその一員としてガバナーの選考にあたった。ガバナーにふさわしいと思われる会員数人にあたったが、いずれも断られ、最終的にはお願いする立場の私が引き受けざるを得なくなった。

断られた最大の要因は、当時猛威を振るっていたコロナ禍であった。コロナウィルス感染症の流行のため、事業に大きな影響を受けている企業が多く、ガバナーどころではない、という現実があった。「if（もし）」コロナ禍がなければ、クラブのガバナー選出は異なった結果になっていた。よって、私のガバナー就任は、3つの「if（もし）」が重なった結果と言ってもよい。

今、ガバナー退任にあたり思うことは、年齢のこともあり果たして無事任期を全う出来るか不安もあったが、なんとか無事終了出来そうである。

ガバナーノミニデジグナイト期間も含め、3年4ヶ月にわたる期間、種々ご教授賜りましたパストガバナーの皆様、各グループのI.Mを主導いただきましたガバナー補佐の皆様、公式訪問でお世話になった地区内65クラブの会員の皆様、地区大会を成功裡に導いて頂いたホストクラブ、コホストクラブの皆様、地区委員会の委員長や委員の皆様、各クラブの事務局員とガバナー事務所のスタッフの皆様、すべての関係者の皆様大変お世話になりました。

受けた大きな御恩に比べ、成果は僅かであったかも知れませんが、これからもパストガバナーとして精進を重ね、2690地区の発展に貢献すべく努力する所存でございます。本当にありがとうございました。



2024年5月25～29日 シンガポール国際大会にて

地区運営を振り返って

地区代表幹事

幡 宏 明

Hata Hiroaki

(松江しんじ湖RC)



2023-24年度のゴードンR.マッキナリーRI会長は「世界に希望を生み出そう」本年度石倉貞昭ガバナーのテーマは「希望の種を播きましょう。そだてましょう。」です。このテーマを中心に古瀬ラーニングファシリテーターから助言を頂きながら、地区の研修を推進して参りました。エレクト年度に地区の委員会組織図を作成致しましたが、ガバナー輩出の松江しんじ湖クラブは会員数46名と少なく、第3グループの4クラブに委員長を引き受けて頂きました。

地区の重要行事はエレクト年度の12月に「国際協議会出席壮行会」から始まり、2月に「地区チーム研修セミナー」、3月に「会長エレクト研修セミナー(PETS)」、4月に「地区研修・協議会」5月に「クラブ活性化ワークショップ」を開催致しました。

5月下旬には石倉ガバナーと一緒にメルボルンの世界大会に参加して参りました。不覚にも地区ガバナーナイトにおいてコロナに感染してしまいました。7月からのガバナー公式訪問に際し、コロナを恐れることもなく65クラブを訪問する事が出来ました。各クラブの実情・特長を把握する事が出来、公式訪問を受け入れて頂きました各クラブの会長・幹事に御礼申し上げます。

地区の最大行事である地区大会は10月21日にホテル畑で地区指導者育成セミナーを開催し、田中久夫パストガバナーにご講演を頂きました。その後、当地区輩出の佐藤芳郎RI理事ご夫妻をお迎えしての歓迎晩餐会を催すことが出来たのは、この上ない喜びであります。翌日10月22日は、くにびきメッセで登録数2,116名、参加者1,390名、コロナが5類になったことも併せ、最近では1番多い参加者でした。登録並びに参加されました方に厚く御礼申し上げます。

今回の地区大会は各方面からお褒めの言葉を頂きました。松江らしいおもてなしができたものと確信

致しております。又式典の進行は時間通りに終える事が出来ました。懇親会の時間は従来より短縮させて頂きましたが、例年より多くのクラブに最後まで残って頂きました。改めて参加して頂いた皆様に御礼申し上げます。そしてコホストとして松江の3クラブには、当日の会場・駐車場等担当して頂き感謝申し上げます。

年度の後半は各グループのインターシティミーティング(IM)、各クラブの周年事業に参加して参りました。特に当地区の産みの親である岡山ロータリークラブの90周年は、地道に奉仕活動を積み重ねて来られたクラブの皆様の努力と伝統の重みを見させて頂き感動しました。

昨年・一昨年11月に佐藤芳郎RI理事が招集者となって神戸で開催されましたロータリー研究会は、ガバナーやパストガバナーの皆さんが勉強して、私達ロータリアンを指導する為の大事な勉強会です。当地区からRI理事を輩出している関係で、各クラブにロータリー研究会の支援のお願いをしました所、皆様にご支援を頂き感謝申し上げます。

又地区の各委員会は活発に活動して頂きました。各委員長・副委員長に感謝申し上げます。又、古瀬ラーニングファシリテーターの発案による、地区内の3年未満の新会員研修会を開催致しました。100名以上の参加があり、有意義な研修になったものと思っております。

11名のガバナー補佐の皆様には石倉ガバナーを支えて頂き厚く感謝申し上げます。又、諮問委員会のパストガバナーの皆様には、多方面でのご指導を頂き地区運営に際してご助言を頂き感謝申し上げます。

最後にガバナー事務所を中心となって支えてくれた松江しんじ湖ロータリークラブの皆さんとお世話になりました皆様へ御礼申し上げます。1年間誠にありがとうございました。

地区ラーニングファシリテーター（DLF） を振り返って

DLF

古瀬 俱之

Furuse Tomoyuki

(出雲中央RC)



2022年度までは地区研修リーダーというポジションがありました。2023年度から地区研修リーダーがDLFに変わりました（表1）。どういうことでしょうか。それはRIの研修スタイルがTraining（研修）からLearning（学び）に変わったのです。教えるを受ける、研修を受けるという受動的な研修方式から、ラーニングファシリテーター（LF）の司会・進行の元、分科会などで、参加者同士がお互いに意見交換して学びあう方式への転換です。従ってLFは分科会などのテーマの目的や道筋を示しつつ、参加者に対してその課題や解決策の問いかけを行います。参加者一人一人から様々な意見・アイデアを引き出していくことで、参加者の気づきや理解を深め、やる気を喚起して、参加者の明日からの行動を促すよう手助けをする役割を担います。LFは指導したり、教えたりすることはありません。できるだけ参加者から意見・アイデアをたくさん引き出すのが大切な役割です。LFの発言はせいぜい全体の1割ぐらいに抑え、全体の進行時間の管理、意見・アイデアの引き出し、議論の交通整理などが求められます（表2）。参考までにLFの日本語訳は意識すれば、学ぶ会の「進行促進役」、参加者が持つものをうまく引き出す「引き出し役」、全体の「舵取り役」だそうです。会議の目的、意味、進行方法、タイムスケジュールなどを最

初にはっきりさせておくに参加者の的確な意見・アイデアが出やすくなり、会議がだらだらと延長されるのを防ぎます。黙っている参加者がいれば発言を促し、参加者全員の考え・アイデアを引き出します。また特定の考えが優勢になって反対意見を述べにくいような雰囲気になった時は、別の考えを持った人はいないか確認する必要があります。全員が意見・アイデアを出し合ったうえで、LFはあくまでも中立的な立場でどのような意見が出ていたかをまとめることで結論を導き、会議を時間内に終えることが求められます。結論は会議の参加者が出すものです。そして極力、参加者全員が不満を残さない会議を目指します。

LFは学習支援に関する知識、理論、手法などのスキルを習得しなくてはなりません。

小生が当地区最初のDLFを拝命し、初めて「DLFの役割とは…」を知りました。本稿の題名「DLFを振り返って」が「DLFの説明」になってしまい、結局「石倉ガバナーのアドバイザー」で終わってしまいました。

小生を支えていただいた多くのロータリアンの皆様、とりわけ地区ラーニング委員会の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

表1 名称変更

旧来の名称	新しい名称
2023年6月30日まで	2023年7月1日から
地区研修リーダー (District Trainer)	地区ラーニングファシリテーター (District Learning Facilitator:DLF)
地区研修委員会 (District Training Committee)	地区ラーニング（研修）委員会 (District Learning Committee)
国際協議会研修リーダー (International Assembly Training Leader)	国際協議会ラーニングファシリテーター (International Assembly Learning Facilitator)

表2 ラーニングファシリテーター(LF)の役割

1：立場は中立
2：司会・進行役（時間管理）
3：進行促進役
4：意見・アイデアの引き出し役
5：意見の舵取り役
6：議論の交通整理役
7：まとめ役

ガバナー補佐退任挨拶

第1グループ

山下 卓治

Yamashita Takuji

(鳥取西RC)



ガバナー補佐退任にあたりご挨拶いたします。

2022年11月より、次期ガバナー補佐として各事業の研修が始まり、2023-24年度がスタートし、石倉ガバナーのリーダーシップのもとに第1グループ8クラブをガバナー公式訪問に先立ち各クラブにて、クラブ協議会を開催していただき、クラブ会長、幹事をはじめ、会員の皆様に温かく迎えていただきましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

7月29、30日に2690地区の第46回インターアクト地区大会のホストが、鳥取ロータリークラブ提唱クラブ、鳥取敬愛高等学校IAC、「砂丘とSDGs」～

未来につながる環境問題～をテーマに鳥取の地で開催されました。

9月9日に鳥取県IACブロック協議会が倉吉にて開催され、さらに鳥取県IAC指導者講習会が11月11日に倉吉北高等学校にて開催され、IAC会員皆様の活動に改めて感動しました。

ポリオ根絶に向かって、倉吉3クラブ、鳥取5クラブによる募金活動等の地域に出での活動は、ロータリーの公共性活動でした。

本年度の第1・2グループIMでは、ホストクラブの米子南ロータリーの皆様には大変お世話になりました。

結びに、1年半にわたり貴重な経験をさせていただきました、石倉ガバナー、幡代表幹事、地区役員の皆様をはじめ、第1グループの各クラブ会員の皆様に感謝申し上げます

第2グループ

福井 龍介

Fukui Ryusuke

(米子南RC)



前前年度クラブ副会長、前年度クラブ会長に続いたのガバナー補佐年度が終わりました。3年間で無事終わることができ、今は少しホッとしています。当初、ガバナー補佐の役割については理解不足で、不安な面もありましたが、前年度から始まった地区研修などを通じて理解を深めることができました。地区役員として諸行事に参加する中で、他クラブの活動内容に触れる機会も多く、大変刺激を受けました。今までクラブ内で委員長などの役を受ける際に、地区内他クラブの活動内容情報を知る機会があれば、事業計画がもう少しスムーズで充実したものになったのではないかと反省もしました。今後地区内での事業データベース化が進むことを期待します。多くの方と出会いがあった1年でもありまし

た。「ロータリー研究会」「国際大会」など国際ロータリーの行事に参加することで世界的な視点で物事を観ることを学び、「地区大会」など地区の行事や会議などではロータリアンとしての視点と判断力を養うことができました。特に後半最大のグループ行事「合同インターシティミーティング」では、私の所属クラブである米子南ロータリークラブがホスト、鳥取西ロータリークラブがコホストとなり、企画段階から多くの方のお世話になり、盛大に開催できたことに深く感謝申し上げます。すべての行事を通じて多くの方と交流を深め、人の輪を広げることができたのも私にとって良い機会となりました。「どこで会っても やあと言おうよ～」ロータリーソングの歌詞通り、人の輪が広がり友情を深めることができたのが、最大の役得となりました。地区ガバナーはじめ地区内の多くの方にお世話になりました。そして支えて頂いた第2グループの会友、米子南ロータリークラブの皆様に、特に深く感謝します。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任挨拶

第3グループ

勝 部 亮

Katsube Ryo

(松江東RC)



勉強不足でガバナー補佐を命じられるまで、何をすれば良いのかあまり考えていませんでした。第1回次期ガバナー補佐会にて任務についての内規を読み始め、自分の立ち位置を意識したものでした。

石倉ガバナー年度でガバナー補佐に就任し、与えられた任務を始めるまで、半年の助走期間がありました。コロナも何とか収まり、ロータリーの活動も少しずつ盛り返して来た時期と重なったことが、役割を果たすのに幸運であったと思っております。クラブ協議会訪問には卓話の時間を与えていただき、興味本位で集めた資料をまとめた、ロータリーの直面するポリオの話をさせていただきました。第3グループ5クラブ、同じ話をしないように心がけました。私の拙い話にどのクラブの皆様も熱心に聴いて下さったことに感謝いたします。

この機会、外から見て同じようにしか見えなかった各クラブが、多様性をもって、工夫しながら活動されているのを感じる貴重な経験になりました。

「うちは世帯が小さいので」と言われたガバナーの下、地区大会が成功のうちに終えられたのは、何よりも嬉しいことでした。この時、ポリオ募金活動に携わせていただきました。大会に参加、協力くださったロータリアンの皆様に感謝致します。I.M.は第5グループにお任せ状態で、第5グループガバナー補佐和原勝博様におんぶにだっこ状態、本当にご苦労様でした。あちこちで、よくやった素晴らしいとお褒めの言葉を頂いたことは望外の光栄と思っております。今振り返ると、自分の働きにどれだけの点数をつけられるか、と思う事ばかりですが、石倉ガバナーはじめ各グループガバナー補佐の皆さんの協力を支えに何とか乗り切ることができました。1年半のあいだ、御指導、御鞭撻を戴きお礼申し上げます。

第4グループ

原 田 明 成

Harada Akinari

(出雲南RC)



今回はからずもガバナー補佐という大役を拝命し、足かけ3年にわたり無我夢中で勤めに邁進して参りました。

一昨年の11月には何をしたいものやら皆目見当も付きませんでしたが、その年に出版された「ロータリークラブに入ろう」という高崎RCからガバナーに出ていた田中久夫さんの本に、ガバナー補佐の役目は「政治家秘書」だとありました。政治家

秘書は代議士の「目・耳・手・足」になることで、この中に「口」はない。だからガバナー補佐はガバナーの意向と違背することがないように勝手に判断せずガバナーと綿密に連絡をとるよう書かれていたものでそのように進めました。

今思い出すとメルボルン・シンガポールと二度の世界大会、神戸で二度のタキシードでのロータリー研究会。もちろん地区大会、IM、各クラブの周年と出させていただきましたがとても楽しい思い出で役に立ちました。メンバーにお願いですが、対外的な大会は出来るだけでたほうが良いと思います。いろいろな交流があってロータリーの良さが出てきます。短い期間でしたがありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶

第5グループ

和原 勝博

Ohara Katsuhiro

(江津RC)



第5グループのガバナー補佐を退任するにあたり、一言お礼を申し上げます。

グループ内の会長・幹事の皆様をはじめ、ロータリアンの皆様には1年間、暖かく接して頂きました。また、大変お世話になり誠に有り難うございました。

私の使命であるガバナーの思いを会員の皆様にお伝えし、地区と各クラブのパイプ役として、少しでもお役に立てたかどうかと振り返っています。地区内最小で東西に長い第5グループですが、会員相互の親睦と奉仕の輪が広がる事を願っての1年でした。

クラブ協議会に於いては、会員増強に苦戦しながら

らも、クラブの特色を生かした奉仕活動を知る機会を与えて頂きました。

また、浜田RCと益田西RC、大田RCと江津RCの合同夜間例会の開催が実現できた事は、クラブ間の共有化に繋がるものと信じております。機会があれば、継続して行ければとも思います。

また、第3・4・5グループ合同のIMでは、ホストも務めさせて頂き、クラブ内の輪も広がった様に思います。会場移動など、ご不便をお掛け致しましたが、沢山のロータリアンのご登録とご参加に、改めて感謝いたします。そして、多くの方々と知り合い、沢山の経験をさせて頂きました。私の中での大きな宝物だと思っています。グループ内、各クラブ様の今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

終わりに、ご指導頂いた石倉地区ガバナー、幡代表幹事をはじめとする地区役員の皆様、同期ガバナー補佐の皆様に感謝申し上げ、退任の挨拶と致します。

第6グループ

福嶋 啓祐

Fukushima Keisuke

(笠岡東RC)



退任のご挨拶を申し上げます。準備期間も入れると1年半ぐらいでしょうか。その間個人的には充実した時間と貴重な体験、そして多くの学びを得ることができました。お世話になったすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

ガバナー補佐の立場上、地区内外のあらゆる行事に参加する事と、グループ内の方々と、例会その他の行事を通してふれ合い、友情を深める事を念願に補佐任務に当たらせていただきました。どのクラブも、積極的、独創的に奉仕活動をしておられ、多く

を学ばせていただきました。

期間中多少ハードな場面もありました。しかし、計り知れないほど大きなものを得ることができました。それはまさしく、グループ内の方々からいただいた友情とご支援です。

IM開催では、皆様のお支えをいただいて成功裡に終えられた事、グループ内全てのクラブにおいて専門家によるメンタルヘルスの卓話の実施、ポリオプラスへの募金協力、及びポリオプラス・ソサエティ登録へのご協力など、グループ内の皆様と笠岡東RCのメンバーには重ねて御礼申し上げます。

有能な次期ガバナー補佐に、無事バトンを渡すことができホッとしているところです。

今後は、クラブ活動に増々尽力するとともに、今回培った他クラブとの交流をさらに深めていきたいと思っています。

ガバナー補佐退任挨拶

第7グループ

山本 真一

Yamamoto Shinichi

(児島東RC)



第7グループガバナー補佐退任にあたり、挨拶申し上げます。

就任の勧めをうけ、1年10か月余り何とか無事に努めることが出来たことに深く感謝申し上げます。

グループ内の輪番順序とはいえ、ガバナー補佐の大役をお引き受けするにあたり、その器でないことは、私自身が一番承知しておりました。過去のロータリーでの活動不足、自身の力不足を棚に上げ、背伸びをしたガバナー補佐となり深くお詫び致します。結果皆様に大変迷惑をかけてしまいましたこと、深く深くお詫び致します。

さて、2690地区の最重点項目の「会員増強に」ついては、各グループにお願いと、「増強」の為の仕掛けづくりをお伺いしました。この間多くの方々と出会い、経験を積むことが出来たように思います。

さらに、諸先輩方のご助言とご指導を賜りました。私自身のロータリー活動に生かしていける気がいたします。「増強」に関してはやはり会員の皆様の熱意が一番重要だと考えます。

先般のIMですが、わずか11名のメンバーで一致協力して実現できたこと、実行委員長の手腕によるところ大きいと思います。テーマは「地域に希望を生み出そう」という大テーマで「児島の過去現在」と児島3白のひとつ「塩」をテーマにご講演をいただきました。児島の現状を理解していただいたと自負しています。これをヒントに地域に希望が生み出すことが出来れば幸いです。

さて、心残りは、任期の終盤になりました国際ロータリーの最重要テーマ「ポリオ（小児麻痺）根絶」についてです。世界で数名の発症者を根絶するためには、今まで以上の資金と努力が必要です。ロータリアンの更なるご協力が必要です。1ヶ月8.3ドルの寄付をお願いしたいということで、ポリオプラス・ソサエティ登録のお願いを各クラブ訪問の時に熱く語らせて頂き、登録者0のクラブを0としたいと思っています。ご登録を強く強くお願いをして、退任の挨拶とさせていただきます。

第8グループ

松永 章

Matsunaga Akira

(津山西RC)



2022年11月12日、次期ガバナー補佐会に出席して以来、約2年6カ月に亘り、本日、退任の日を迎える事が出来ました。思えばコロナ禍での出発でした。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等が発令された結果、政府は感染のリスクが少しでもあれば、他の面でどんなマイナスの影響が出ようと徹底的に対策を講じてきました。学校の行事は中止に、入院患者の面会やお見舞い、飲食店等も大幅に制限されました。政府は2023年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に引き下げました。政府が季節性の風邪のウイルスの一種だと認めたのです。本来はウイルスの強さや感染力によって決まるはずですが、昨年5月8日をもって、いきなり感染力が落ちるわけではないと思います。

ロータリー活動においてもIMや周年行事はほとんど中止を余儀なくされました。私どもの年度では幸いにも地区大会も昨年10月21日に作家評論家でもある、石平氏に記念講演の講師として中国問題、日中問題等わかりやすくユーモアあふれる語り口で会員全員が満足されたと思います。

また、新型コロナの第5類移行後、初のIMを今年3月17日に「やすらぎと思いやり」をテーマとして第8、第9グループ合同で行う事ができました。基調講演は国際ロータリー第2660地区直前ガバナーの宮里唯子氏（茨木西RC）に「DEI推進：インクルーシブなクラブ作り」というテーマで、特別講演は財団法人淳風会代表理事理事長、東京大学名誉教授、川上憲人氏に「企業組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事か、そのために何ができるのか」というテーマで講演をいただきました。お二人の講演を拝聴し、これからのロータリー活動の大きな指針となる、素晴らしいお話だったと感じております。

最後に第8グループ5クラブの会長幹事クラブの会員の皆様、石倉ガバナー幡地区代表幹事の方々に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶

第9グループ

諸國 眞太郎

Shokoku Shintaro

(岡山東RC)



2022年8月に石倉貞昭ガバナーエレクトからガバナー補佐を委嘱されてから足掛け2年間の任期を終えました。地区ガバナー石倉貞昭様、大変お疲れ様でした。ガバナー補佐を退任するに当たり一言書かせていただきます。

何といっても第8グループガバナー補佐松永章(津山西RC)様と共催したインターシティミーティングが一番の仕事でした。「やすらぎと思いやり」をテーマとして基調講演を国際ロータリー第2660地区直前ガバナー宮里唯子様に「DEIの推進：インクルーシブなクラブ作り」、特別講演を一般財団法人淳風会代表理事 理事長、東京大学名誉教授 川上憲人様に「企業・組織におけるメンタルヘルス

はなぜ大事か。そのために何ができるのか」をそれぞれお願いいたしました。これらは、RI会長、地区ガバナーが希望したテーマで、これで少し役目を果たせたのではないかと安堵しています。

また、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会への出席は、クラブ運営について考えさせられました。各クラブにそれぞれ歴史と伝統と約束事があり、そして将来のクラブ運営を考慮して残すべきものと捨てるべきものを模索し、特にコロナウイルス感染症蔓延や近年の社会状況から会員増強。会員維持への取り組みに苦慮していることもよくわかりました。

ガバナー補佐として本当にガバナーのお役に立てたかどうかはわかりませんが、私自身としてこの任期の間にクラブ外、地区外のロータリアンとの交流が出来たことが大変良い経験になって良かったと思っています。

ただ、松江の古い街並みや茶の湯や和菓子など城下町をゆっくり散策しながら楽しむことができなかったことは残念でした。ゆとりが出来たら家族で松江、出雲を改めてゆっくり訪れてみたいです。

第10グループ

木口 浩一

Kiguchi Koichi

(岡山旭川IRC)



長かったような、短かったような約1年半でした。

ガバナー補佐のお役がどのようなものなのか、何もわからないままチャーターメンバーさんの代役としてYESとハイでお引き受けしてしまいました。

11月から石倉ガバナー様・幡地区代表幹事様ご出席の元、松江で次期ガバナー補佐会が始まりました。少しずつ何をするのかわかり始めガバナー補佐就任の7月からのクラブアッセンブリーという大役に緊張していたところ、スケジュールの関係で急遽6月下旬からの訪問となり、あたふたした時期もありましたが5クラブを無事訪問させていただきました。それぞれのクラブが個性溢れるクラブ運営をされていて、独自の奉仕活動が行われていました。クラブアッセンブリーでは私が一番勉強させていただきました。

そしてガバナー補佐の大役であるIMを1月に行いました。猪木ガバナー補佐率いる第11グループの岡南ロータリークラブ様が担当された第一部は「地域経済の現状と課題～地方創生の鍵」と題した岡山大学特任教授中村良平先生のご講演をいただきました。

岡山旭川ロータリークラブが担当した第二部では「ロータリーとローターアクトの未来」をテーマに岡山大学ローターアクトクラブの創立から約一年間の数多くのユニークな活動を発表させていただきました。まさにローターアクトがロータリーの未来なのだという事を実感されたロータリアンの方もたくさんいらっしゃったと思います。皆様のおかげで大変有意義なIMとなりましたことを心より感謝いたします。任期後半では数々のセミナー等に積極的に参加し勉強させていただきました。

これで無事退任となりますがガバナー補佐の仕事は今まで経験したことのない、新しい景色でした。この素晴らしい景色を見させていただいたすべての方々には感謝しかありません。

石倉ガバナー様はじめ2690地区のすべてのロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶

第11グループ

猪木 健二

Inoki Kenji

(岡山岡南RCRC)



ガバナー補佐の任期を終えるにあたり、一言御礼
かたがたご挨拶申し上げます。

任期中、大過なく過ごすことができましたのは、
皆様のご支援、御協力のお陰です。心より感謝申し
あげます。

振り返ってみますと、定期的なガバナー補佐会へ
の参加、IMの企画・開催、個々のクラブ周年行事
への参加、奉仕活動やIDMへの特別のお誘いなど
数多くの行事があり、あっという間の1年間でした。
私にとってはとても充実した1年でした。

特に、就任早々、第11グループの各クラブを訪問

しクラブ協議会に参加させていただいたことは、各
クラブの活動状況だけでなくクラブの雰囲気などを
知る契機となり、とても勉強になりました。各クラ
ブの参考とすべき事項は、独自に書面にまとめて配
布させていただきましたが、これは私一人の勉強で
はもったいないと思ったからでした。

訪問に際しては、クラブの会長・幹事様をはじ
め、多くの会員の皆様と交流ができたのも大変貴重
な経験でした。ありがとうございました。

また、令和6年1月28日のインターシティミー
ティングも無事に開催できました。このような行
事を企画した経験は初めてであり不安はありまし
たが、忘れがたい良い思い出となりました。

最後に、ガバナー補佐として所属クラブ以外の多
くのロータリアンの皆様と友達となれたことは私の
一生の財産です。どうか、今後とも引き続き、ご指
導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

2023-24年度 ポリオプラス・ソサエティ (PPS) 登録数 一覧表

クラブ名	登録数
第1グループ	
智 頭	
倉 吉	
倉 吉 中 央	
倉 吉 東	
鳥 取	
鳥 取 中 央	
鳥 取 北	
鳥 取 西	1
第2グループ	
境 港	3
米 子	3
米 子 中 央	
米 子 東	7
米 子 南	13
第3グループ	
松 江	2
松 江 東	4
松 江 南	1
松 江 し ん じ 湖	10
隠 岐 西 郷	
第4グループ	
平 田	
出 雲	
出 雲 中 央	1
出 雲 南	3
大 社	

クラブ名	登録数
第5グループ	
江 津	6
浜 田	
益 田	4
益 田 西	1
大 田	11
第6グループ	
井 原	2
笠 岡	4
笠 岡 東	14
新 見	1
総 社	4
総 社 吉 備 路	1
高 梁	3
玉 島	2
第7グループ	
児 島	
児 島 東	11
倉 敷	
倉 敷 中 央	
倉 敷 東	
倉 敷 南	1
倉 敷 水 島	
倉 敷 瀬 戸 内	

クラブ名	登録数
第8グループ	
真 庭	
美 作	
津 山	
津 山 中 央	
津 山 西	
第9グループ	
備 前	
岡 山	
岡 山 東	7
岡 山 北 西	
岡 山 後 楽 園	4
第10グループ	
岡 山 旭 川	
岡 山 中 央	
岡 山 北	
岡 山 南	1
玉 野	1
第11グループ	
岡 山 備 南	
岡 山 城	
岡 山 岡 南	
岡 山 丸 の 内	
岡 山 西	1
岡 山 西 南	

総 合 計

127

ローターアクト地区年次大会 開催報告

地区ローターアクト代表

小 野 竜 也 Ono Tatsuya



令和6年5月11～12日の2日間、倉敷市芸文館にて第47回地区ローターアクト年次大会を執り行いました。

石倉貞昭第2690地区ガバナー、大内茂地区ローターアクト委員長、スポンサークラブの倉敷南ロータリークラブ土井修会長をはじめ、地区内・地区外を問わず多くの皆様にご臨席を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今回地区年次大会の開催にあたり、ホストクラブを務めさせていただきました、倉敷南ローターアクトクラブは現在10名で活動を行っており、少人数で皆様をお出迎えする形となりました。

メンバーのほとんどが年次大会の主催は未経験ということもあり、開催までの準備や当日の段取り等思い通りにいかないこともありましたが、地区ガバナー事務所や提唱ロータリークラブの皆様のご支援・ご協力のおかげで無事当日を終えることができました。

当日はロータリークラブ10名、地区内のローターアクトクラブ会員42名、地区外のローターアクトクラブ会員25名、当クラブOB1名の78名での開催となりました。

地区外からは友好7地区である中国・四国地方、九州地方より長い時間をかけて多くの方にお越しいただき、大変感謝しております。

石倉貞昭地区ガバナー、大内地区ローターアクト委員長、倉敷南ロータリークラブの土井会長には各ご挨拶、ご講評をいただきました。皆さまご挨拶の依頼を快くお受けいただき、感謝いたします。暖かい言葉をたくさんいただき、大変励みとなりました。

本大会はメインテーマを【繋ぐ】とし、ローターアクト内の和を繋ぎ、地区内外のローターアクト同士の輪を繋ぎ、次世代

への思いを繋ぐことを目指して準備を進めてまいりました。

1日目の昼は式典および各ローターアクトクラブによる活動報告、夜はグランココエ倉敷にて懇親会を行いました。懇親会ではお食事や出し物を通して地区内外問わず交流していただきました。岡山南ロータリークラブの秋山様には「駄菓子おじさん」として大いに会場を盛り上げていただきました。大変ありがとうございました。

2日目のメインプログラムでは倉敷の美観地区にてグループに分かれての散策の後、美観地区にちなんだクイズ等を行い参加者の皆様に交流を深めていただきました。皆さま倉敷の街並みを楽しんでいただき、岡山の魅力に触れていただくことができたと感じております。

当日は地区内外問わずたくさんの方と交流する機会となり、地区外に出る機会の無かった地区内のローターアクトにとっても良い刺激となったかと存じます。今大会に関わった方々が、今大会を通じて繋がった人と人との縁を大切に、今後の活動の糧としていただくことができれば幸いです。

当クラブ会員には本年度の始まりより、頻繁にお集まりいただき年次大会開催にむけてご尽力いただきました。多忙な1年となりましたが、会員1人1人が自身の役割を全うし、本大会を成功へと導いてくれたこと大変ありがたく思います。この1年を通して会員全員の成長を強く感じることができました。

今後は次年度の地区を運営していく米子ローターアクトクラブへとバトンを繋ぎ、地区のサポートをしながら当クラブ会員もより一層成長していけるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。この度はありがとうございました。



2024年シンガポール国際大会 参加報告

SAA理事

清水 葉子

Shimizu Yoko

(鳥取西RC)



2024年国際ロータリー年次大会が「世界と希望をわかちあおう」のスローガンのもと、シンガポールにて2024年5月25日～29日に開催されました。私も鳥取西ロータリークラブでは岩崎パストガバナーとともに、9名で参加いたしました。

開会式が行われる5月26日には、佐藤芳郎国際ロータリー理事主催の日本人親善朝食会がラッフルズシティコンベンションセンターで開催されました。約800名の日本人ロータリアンがシンガポールで一堂に会する朝食会には、ゴードンR.マッキナリーRI会長とステファニーA.アーチックRI会長エレクトもご出席され、本会議の開会式前にご両名のスピーチを拝聴できるという贅沢さでした。

開会式はマリーナベイ・サンズ・エキスポ&コンベンションセンターで開催されました。本会議の開会式には世界各国から大勢のロータリアンが参加します。私は昨年の国際大会に続き2度目の参加でしたが、開会式に参加しますとロータリーの規模の大きさを実感いたします。参加者と挨拶を交わしたり写真を撮りあうことで、自分がロータリアンとして世界の人達と繋がっていることも感じるができます。これが国際大会ならではの醍醐味なのです。

本会議のはじめには各国の旗がステージに登場します。国の名前が読み上げられて、その国の人達は歓声を上げ拍手をします。「Japan!」のアナウンスのあと歓声が一層大きくなったときには、日本から大勢の仲間が参加していることを感じ、とても誇らしく思えました。

国際大会は、世界から集まる行動人たちが世界や地域が抱える課題への解決について考え、持続可能な変化を生み出す活動の成果を祝うとともに、仲間とのつながりを深め視野を広げながら、一生の思い出と末

永い友情をつくることのできる機会だといわれています。シンガポール国際大会は、マッキナリーRI会長がより公平でより平和な世界のために行動を起こすことを呼びかけ、グローバルな視点を強調して幕を開けました。

開催地で参加者は登録証を身に付けていますので、ロータリアン同士はすぐにわかります。街でも互いに気がつく挨拶を交わします。宿泊ホテルのエレベーターで、外国の女性が私の登録証を見て「どこから来たの?」と問いました。彼女も登録証を付けていました。「日本の鳥取です」と答えると「私はオーストラリアのシドニー」その後、カタコトの英語と身振りでメルボルン大会に参加したことを伝えたりしました。異国の地でどこの誰ともわからない人と会話ができるのは、ロータリーという共通項があるからです。

26日の夕方からは、石倉貞昭地区ガバナー主催のガバナーナイトがビクトリアストリートのチャイムスにて開催されました。佐藤芳郎RI理事、榊原敬地区ガバナーエレクト、坂口元昭地区ガバナーノミニーもご出席され楽しいひと時を過ごすことができました。

シンガポールは、観光としてもとても楽しめた土地でした。マライオンパーク・マリーナベイサンズ展望台・セントーサ島・サファリナイト・リパークルーズ・ガーデンズ・オーチャードロードなど、皆でクタクタになるほど楽しみました。

国際大会はその土地の文化や食事そして歴史などを学んでその人たちの生活を知りながら、他国のロータリアンと出会う素晴らしい機会でもあります。未体験の方はロータリーの魅力をより知るためにも、家族サービスをかねて次回カルガリー国際大会に参加してみたいはいかがでしょうか。



RYLAセミナー 開催報告

地区青少年奉仕・RYLA委員会 委員長

天 野 正 道

Amano Masamichi

(松江東RC)



6月1日(土)に、松江テルサ(松江勤労者総合福祉センター)にて、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)を開催しました。RYLAとは、ロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards)の訳であり、14~30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムの事です。このプログラムを通じて、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨いていきます。コアカリキュラムは、リーダーシップの基本と倫理、コミュニケーションスキルと問題解決能力の育成、ロータリーの地域社会、国際社会への貢献など。形式内容は様々で、1日のセミナーから数日間の合宿まで、さまざまな形式が取られます。多くは、講演、バズセッション、フォーラム、レクリエーション、思索の時間、キャビンタイムを組み合わせています。

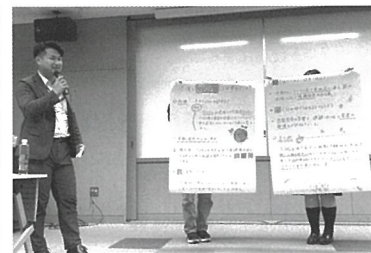
今回は、講演として犯罪学教室のかなえ先生(Vtuber)と嶋村文男パストガバナー(2580地区)の2名にお話しいただきました。講演①犯罪学教室のかなえ先生は、元少年院法務教官で、現在は企業経営者、作家と幅広い活躍をされています。多くの経験や体験から、これからのリーダー論を話して頂きました。講演②として、現在ロータリアンとして、アクティブであり知識・経験の豊富な嶋村文男パストガバナーに、ロータリーの概要と、ロータリーの目指すリーダー像についてお話し

いただきました。ただ座って聞くだけの講演ではなく、参加者同士の自己紹介・他己紹介、さまざまな問いかけを含めてあっという間に時間が過ぎていきました。ロータリーの歴史から始まり、リーダーの資質やリーダーシップの変遷など多岐にわたりお話しいただきました。2人の講師は、話す切り口こそ異なりますが、最終的に目指すリーダーシップ像は一緒に、講演2本の建て付けがしっかり構築できたと思います。

続いて、グループワークとしてバズセッションを行いました。今回考えるお題目は、『今後ともSDGsが必要か否か?』でした。

限られた時間の中で、グループの人間形成が不十分ではありましたが、講演②での関わりあいやバズセッション前のアイスブレイクで少なからず関わることでコミュニケーションが離れたと思います。各チームとも、結果は一緒でしたが、そこに至る経過はそれぞれであり、参加者のリーダーシップが図れたと思います。インターアクターがグループをまとめたり、若手社会人が主導したり、各テーブルで構築された関係性があり、様々な種類のリーダーシップが反映されました。

今回のRYLAを通じ、参加者の心に何かを感じ今後の活動のきっかけになることを期待します。最後に、今回の開催にあたり多くの皆様のご理解とご協力に対し、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



新会員セミナー 開催報告

地区ラーニング委員会委員長

古瀬 俱之 Furuse Tomoyuki

(出雲中央RC)



令和6年6月15日、ホテル一畑でロータリークラブ入会3年未満の会員を対象にセミナーを開催しました。1部は大久保章宏2800地区パストガバナー（PDG）のご講演を中心に90分、第2部は大久保PDGを囲んでの懇親会を50分と予定しました。当日の参加者は1部が104名、2部が48名でした。ご来賓として松本祐二PDG、岩崎陽一PDG、榊原 敬地区ガバナーエレクト、坂口元昭地区ガバナーノミニー、金谷晋爾地区ガバナーノミニーデジグネート、西川智晴次年度地区代表幹事、坂本高司次々年度地区代表幹事、木口浩一ガバナー補佐の皆様のご臨席を賜りました。

1部の司会は幡 宏明地区代表幹事で、石倉貞昭地区ガバナーのご挨拶（入会年度の浅い会員への研修の必要性）でスタートしました。次いで小生が、本セミナーの趣旨説明（入会3年未満に退会する会員が多いのでロータリーを楽しむ心構えと方策について講演を通して考え、そして会員に現在のロータリー感を尋ね、大久保PDGにコメントをいただく）をしました。その後、講師紹介を予定していましたが、大久保PDGが講演の中で自己紹介をするとの事で省略し、早速講演に入りました。演題は「入会3年未満の会員へ、ロータリー活動の考え方」、副題として「私の体験談+ロータリーの基礎知識」です。表に示す順序で、微に入り細に入りお話していただきました。その中で強調された4項目について記します。

- 1：ロータリーとは？ 大切なキーワードは「親睦」と「奉仕」。
- 2：ロータリーの素晴らしいところは「ロータリー活動で培った経験は、仕事では経験できない」、「ロータリーの会員は平等」、「ロータリー活動で結ばれた友人は将来自分の仕事に大きなプラスになる」、「ロータリーバッジを付けている人とは、ロータリーの話ですぐ溶け込むことができる」。
- 3：大久保PDGがガバナー時の地区テーマは「ロータリーの木の苗木を植えましょう。クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために」、石倉ガバナーの地区テーマは「希望の種を播きましょう、育てましょう」です。目指す方向性は同じで、当地区への親近感が増した。
- 4：入会して先輩から先ず言われた事は「例会に出られない時は必ず「メイクしなさい」だった。大久保新入会員は出張が多く、山形県内のクラブはもとより全国あちこちでメイクした。関係仕入れメーカーの支店長、部長が属しているクラブに進んで「メイク」し、例会の時間にゆっくり色々な話をさせてもらった。その結果、仕事にかなりプラスとなった。「ロータリーのメイクは仕事に活用できる、これを活用しない手はない」、「ロータリーで仕事をしてはいけないという規定はない」。メイクに対する大久保新入会員のすごい「飛び込み」に驚き、感心しました。

第2部は小生が司会を務めました。飲食（コーヒー、軽食）しながら大久保PDGと会員の親睦会を開催しました。くじで座席を決め、丸テーブル8台に6～7名坐ってもらいました。意見が出やすいように、場を和ませる目的で2つのお願いをしました。「坐った両隣の会員の名前、所属クラブ、職業分類を聞き出してほしい。10分後、テーブルごとに1名指名するのでその方は自己紹介と両隣の2人の紹介をお願いしたい」。1テーブル3分として24分、後半の26分で質問や意見を引き出そうと考えていました。もし何も発言がなかったら小生が知りたい5項目を提示し、会員から意見を聞き出す用意をしていました。しかし全テーブルの紹介が終わった時刻はちょうど、2部の終了予定時刻でした。両隣の会員が次から次に自己紹介の補足やロータリーの事を述べました。中には米山奨学生で日本の大学を卒業し、そのまま日本で起業した会員、20年（？）ぶりにこの会場で偶然出会ったいとこ同士の会員、岡山大学のRACを応援したいためにロータリーに入会した会員など、随分盛り上がった楽しい会になりました。司会者の意図と異なりましたが、他クラブの会員同士の親睦ができ大変良かったと思いました。

1、2部を通じて、ロータリーを楽しむには「例会に出席する」、「欠席したらメイクをする」、「会員自らがロータリーに入り込む努力をする」、「ロータリー活動に積極的に参加、参画する」、「他クラブの会員と交わると更にロータリーを学ぶ機会が増える」という事を再認識しました。

ご多用中、ご参加いただいた会員の皆様、ご来賓の皆様にご心から感謝申し上げます。ご協力、誠にありがとうございました。

表 講演のあらまし

1：自己紹介
2：問いかけ ロータリー入会のきっかけは？ ロータリクラブとは？ ロータリーとは？ ロータリーを1分で語れますか？
3：紹介 2800地区、2690地区、山形南ロータリークラブ、ロータリーの正式ロゴ、大久保PDGの入会時オリエンテーション
4：大久保PDGの想い 転換点、ロータリーの素晴らしいところ、ロータリーの楽しい思い出
5：ロータリーの基礎知識 ロータリーの概要、RI国際ロータリー、RI理事会、地区、RI事務局と日本事務局、ロータリーの目的、ロータリーの2つの公式標語（モットー）、5大奉仕、4つのテスト、ロータリー財団、米山記念奨学会、ロータリーのビジョン声明、行動人、ロータリーの戦略的優先事項、ロータリーの重点分野、世界ポリオデー

浜田ロータリークラブ創立65周年 記念例会・祝賀会 開催報告

浜田ロータリークラブ会長

茶 円 宥 勝

Chaen Yusho

(浜田RC)



浜田ロータリークラブは、1959年9月25日に設立総会が行われ、翌年1月25日に国際ロータリーへの加盟が承認されました。スポンサークラブは松江RC様。23名の会員で発足しました。創立のきっかけは、当時の松江RC会長であり、島根県知事を勤められた、田部長右衛門会長の厚い要請を受けてのものでした。

本年は“5”のつく周年でもあり、対外よりも、会員が足元をしっかりと見つめ直す年度にすべきと考えました。故にあえて式典とはせず、例会として節目を祝いました。

当日は久保田章市浜田市長、樫山陽介浜田商工会議所会頭にご臨席を賜りました。ロータリー関係では、石倉貞昭ガバナー、松本祐二バスタガバナーをはじめ、第5グループの会長幹事を中心に、極身近な方のみご招待しました。また浜田藩の末裔として是非参加したいと希望された、前年度地区代表幹事河本秀生様にもご来訪いただけました。

記念例会は通常の次第に、物故者追悼とご来賓の挨拶。直近5年間の会長への感謝状贈呈。昨年度退職された事務局員へ記念品贈呈を行い、35分で終了するスマートなものでした。

祝賀会は松本バスタガバナーのご発声で「牛乳での乾杯」にて幕を開けました。これは本年度当クラブが展開している、RCの公共イメージ向上作戦と、ポリオ根絶キャンペーンのため、牛乳パックへの「四つのテスト」と、「ポリオ根絶」の啓発文をプリントした事業を意識してのものでした。尚1ℓ牛乳は、売上金の一部をポリオ根絶に寄付いたします。また200ml牛乳は主に学校給食で飲まれており、小中学生は毎日「四つのテスト」とロータリーのロゴを見ながら食事をしています。学校の先生もこの内容や意味を説明してくださっている様です。牛乳を通じて、RCの存在が更に認知され、ポリオ根絶の協力が広がり、四つのテストが多くの方の人生の指針となれば幸いに思います。

祝宴では、ハイブリッド ウインドオーケストラ（浜田市・江津市にUターンして活躍している音楽集団）の素敵な歌と演奏で会場は大いに盛り上がりしました。そして7年前から支援をしている、ブータン王国の子供たちへの美術教材贈呈を通じて関わりのある、ブータン教育庁と、ティンブーRCとをオンラインで繋ぎ、暫し交流の機会を持ちました。本年度は地区世界社会奉仕プログラムの協力を得て、まとまった支援が出来ました。更に当クラブがお世話をし、現在ロンドン大学に地区補助金奨

学生として留学している、中田茉衣さんにもリモートで参加してもらい、近況報告をして貰いました。ブータン・ロンドンを繋ぎ、国際色豊かな祝賀会となりました。

「祝賀会はゆっくり楽しんでもらいたい！」との思いで設営しましたが、時間もたっぴりあり、美味しい料理と飲み物で、大いに喜んでいただけたのではないかと思います。これも会場の方の浜田ニューキャッスルホテル様、65周年実行委員会の皆様のご尽力と、全会員の協力の賜物と深謝しております。そして祝賀会の最後は、幡宏明地区代表幹事の万歳三唱、一同輪になっての「手に手つないで」斉唱で幕を閉じました。

一つの節目が無事終了し、また新たな一歩を踏み出していきます。しかし当クラブでも様々な問題があるものと思います。しっかりと足元を見つめ固めて、「親睦と奉仕」の両輪を大いに回して行ければと思います。本年度のテーマ「二利双修 仕合せの歯車まわせ！」を今一度噛みしめ、浜田RCの更なる飛躍を祈念します。

最後になりましたが、今日まで当クラブを支えていただいた皆様に、心より感謝御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。





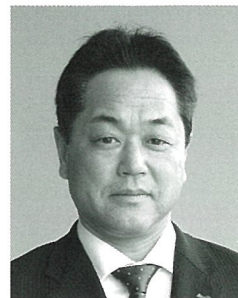
美作ロータリークラブ創立60周年 記念式典・祝宴会 報告

実行委員長

小林 徹

Kobayashi Toru

(美作RC)



2024年5月19日（日）、美作市にあります美春閣において、美作ロータリークラブ創立60周年記念式典および祝賀会を開催いたしました。

我がクラブは、1964年2月18日 津山ロータリークラブをスポンサーとして岡山県下8番目のクラブとして誕生しました。

今回の開催にあたり、美作市長萩原誠司様をはじめ特別来賓の皆様、国際ロータリー第2690地区ガバナー 石倉貞昭様、第8グループガバナー補佐 松永章様、第9グループガバナー補佐 諸國眞太郎様、スポンサークラブの津山ロータリークラブ会長廣田裕様をはじめ、日頃よりご縁のある第8、第9グループの会長・幹事の皆様、奉仕活動を通じてお世話になっております地域の皆様、そして我々の活動を影より支えているパートナーの皆様等々、多数のご臨席を賜り、盛大に執り行うことが出来ました。

先ず、式典に先立ちオープニングには、美作ロータリークラブ60周年の軌跡を映像で振り返り、そして、創立以来今日まで永きにわたり当クラブ発展の為に尽力いただいた皆様や、会員に対して、感謝状、表彰状並びに記念品を贈呈しました。特にわんぱくサッカー大会は、我がクラブ35年にわたり継続している事業で、その功労者として、岡山県サッカー協会 岸元千明様に感謝状を贈呈いたしました。

又、60周年の記念事業として、本年度美作市の新庁舎が建設される市民広場へ、市民の利便性を兼ね備え

た記念モニュメントとして、高さ4mの時計塔を美作市へ寄贈する事とし、萩原美作市長に目録の贈呈をしました。

祝賀会では、オープニングとして地元「勝央金時太鼓」の躍動感あふれる演奏を聴き、アトラクション、食事等々も、ご参加いただきました皆様に楽しんで頂き、美作ロータリークラブらしい工夫とおもてなしが出来たのではないかと考えております。

この度の60周年に際しまして、「未来に想いをつなぐ」を念頭に会員全員一丸となって進めてまいりました。これを糧として、美作ロータリークラブは70年、80年へと会員一同地域社会へ貢献し、奉仕の心と親睦を高めながら、信頼する仲間とともに精進してまいりたいと思います。どうぞ今後共ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



倉吉ロータリークラブ創立70周年を迎えて

倉吉ロータリークラブ会長

馬野 慎一郎

Umano Shinichiro

(倉吉RC)



倉吉RCは鳥取RCと米子RCをスポンサークラブとして、1954年4月20日に県内では3番目、第2690地区では6番目のクラブとして設立されたクラブです。昨年倉吉市が市制70年の節目を迎えられましたが、新しき市制がスタートし、日本が戦後の復興から経済成長に向かおうとしている頃にクラブを設立された当時の先達へ思いを新たにするところです。

創立70周年を記念して二つの記念事業を行いました。一つは「相撲でふるさとを元気に!!」フォーラムを2023年12月10日に開催させていただきました。初代琴櫻関にちなみ青少年を対象として45回開催されている「桜ずもう」など倉吉は相撲にゆかりの土地柄です。地元ゆかりの力士が大相撲で活躍する時期でもあり、ふるさとをさらに盛り上げようと第一部にパネルディスカッション、第二部にNHK解説者舞の海秀平氏の講演を企画し、倉吉未来中心大ホールに大勢の市民を無料で招いて好評をいただきました。この機会に、とフォーラム前にポリオプラスのPR動画を上映し、フォーラム終了後に市民の皆様にご募金を呼びかけさせていただきました。

もう一つの事業として2025年3月に開館が待たれる倉吉市に建設された鳥取県立美術館の屋外彫刻が7基設置を予定されている事業に賛同し、その経費の一部を補助させていただくことにいたしました。今後の鳥取県における美術振興の一助となることを祈念いたします。

2024年6月16日に倉吉ロータリークラブ創立70周年記念式典を挙行いたしました。当日は鳥取県知事平井伸治様、倉吉市長広田一恭様、RI第2690地区より石倉貞昭ガバナー、伊藤文利PG、庄司尚史PG、岩崎陽一PG、幡宏明地区代表幹事、山下卓治第一グループガバナー補佐をお迎えしました。また倉吉東RC、倉吉中央RCより多くの参加をいただきました。感謝御礼申し上げます。

式典開会前に直近10年間の活動を振り返るメッセージ動画を鑑賞し、物故会員を悼悼しました。クラブ会長の開会挨拶の後にご来賓より挨拶をいただき、次いで上記記念事業の報告をさせていただきました。鳥取県立美術館屋外彫刻設置補助事業に関しては平井知事より感謝状を贈呈いただきました。

た。クラブメンバーの功勞に対しての記念品贈呈、現役メンバー最高齢の伊藤PGに70周年の思いを語っていただきました。式典閉会の後、記念写真の撮影、祝賀会と続き、参加いただいた皆様と70周年の喜びを共にさせていただきました。2つの海外の姉妹クラブと長年交流をしておりますが、フィリピンのウエストダバオRCとは2024年3月にリモート形式で姉妹クラブ更新締結式を行いました。スリランカのキャンディRCからはヴィジャクマランPG他2名が記念式典に合わせて来日され、旧交を温めました。また約50年前に青少年交換学生として倉吉の学校に通い、アメリカのホノルルサンライズRCの会長も務められましたデーヴ・アードマン氏が式典に参加いただいたことも心温まる思い出となりました。

倉吉RCは多くの皆様のお陰を持ちまして創立より70年を迎えることができました。どのような活動も長く続けることには意義があるものですが、この2023-24年度にクラブメンバーは様々な事業を通してクラブの歴史を振り返り、クラブの存在意義を考える機会になりました。今後も世界の安寧を希求し、そしてふるさとを元気に姿を見つめ、学びと奉仕と親睦の場である倉吉RCを会員一同で一年一年年輪を重ねてまいります。第2690地区関係者におかれましては今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2023-24年度 シェアシステム 地区財団活動資金（DDF）使用に関する報告

（日本円金額は参考数値であり、地区補助金申請時のロータリーレート 1ドル＝140円で計算しています）

収 入	ドル	円
3年前の年次寄付額の50%	249,058	34,868,120
恒久基金収益の50%	29,137	4,079,180
前年度からのDDF繰越額等	108,293	15,161,020
合 計 ①	386,488	54,108,320

支 出	申請額		使用額	
	ドル	円	ドル	円
地区補助金：DG2446980（上限額 140,008ドル）※注1				
■クラブ提唱 奉仕プロジェクト※注2	74,228	10,391,920	71,482	10,007,480
クラブ単独プロジェクト 32件				
境港RC 岡山北西RC 玉島RC 倉敷東RC 大社RC				
岡山西南RC 総社吉備路RC 岡山東RC 総社RC 倉敷南RC				
益田西RC 米子南RC 岡山後楽園RC 鳥取北RC 備前RC				
出雲南RC 岡山南RC 倉敷水島RC 津山西RC 津山中央RC				
米子東RC 倉吉東RC 岡山備南RC 鳥取RC 井原RC				
江津RC 岡山西RC 大田RC 新見RC 岡山中央RC				
出雲中央RC 平田RC				
クラブ共同プロジェクト 2件				
岡山岡南RC・岡山西南RC				
岡山丸の内RC・岡山城RC				
■奨学金：中田茉衣さん／SOAS University of London（英国）	19,000	2,660,000	19,000	2,660,000
■奨学金：ブラダン シュレヤスさん／The University of Manchester(英国)	19,000	2,660,000	19,000	2,660,000
■臨時費※注3	12,000	1,680,000	1,367	191,380
1件…玉島RC				
■奨学生オリエンテーション会場費※注4	1,000	140,000	0	0
■補助金管理セミナー会場費・印刷費	12,000	1,680,000	8,293	1,161,020
■補助金管理運営費（補助金額の3%まで申請可）	2,780	389,200	501	70,140
小 計	140,008	19,601,120②	119,643	16,750,020
グローバル補助金				
■奨学金：GG2349203長江愛子さん／Griffith University（オーストラリア）	27,500	3,850,000	27,500	3,850,000
■プロジェクト：GG2350695 地区提唱 The Oyster Reef Project（米国）	5,000	700,000	5,000	700,000
DDF寄贈				
■ポリオプラス基金			50,000	7,000,000
■第2690地区ロータリー平和センター基金			25,000	3,500,000
■モロッコ地震救援基金			20,000	2,800,000
小 計	32,500	4,550,000③	127,500	17,850,000
合 計 ④＝②＋③			247,143	34,600,020

差 額	ドル	円
2024-25年度への繰越額（①－④）	139,345	19,508,300

※注1 地区補助金の申請上限額は（3年前の年次寄付額の50%＋前年度の恒久基金収益の50%）×50%です。

※注2 各クラブ提唱奉仕プロジェクトの詳細は2023-24年度地区活動報告へ掲載します。

※注3 補助金の20%までの臨時費（用途未定）として申請することができます。

※注4 奨学生のオリエンテーションは、オンライン研修のため経費の発生がありませんでした

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
第6回諮問委員会 次第

日時：2024年6月2日(日) 11:00~12:30
会場：ホテル・畑 松の間
司会：地区副代表幹事 尾添 憲男

1. 開会
2. 配布資料の確認
3. 地区ガバナー挨拶 地区ガバナー 石倉 貞昭
4. 報告事項
①2024学年度米山記念奨学生について 【資料①】
②能登半島地震の支援金について 【資料②】
③台湾東部地震の支援金について 【資料③】

- ④ポリオプラス・ソサエティの登録者について 【資料④】
⑤地区バスターガバナー会の会計報告について 【資料⑤】
⑥その他
5. 地区ロータリー財団事務所より
6. 榊原敬ガバナーエレクト事務所より
7. 坂口元昭ガバナーノミニ事務所より
8. 閉会

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
第4回ガバナー補佐会 次第

日時：2024年6月9日(日) 11:00~12:30
会場：ホテル・畑 松の間
司会：地区副代表幹事 金見 邦明

1. 開会
2. 配付資料の確認
3. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 石倉 貞昭
4. 地区ガバナーエレクトあいさつ 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
5. 地区ガバナーノミニあいさつ 地区ガバナーノミニ 坂口 元昭
6. 地区ラーニングファシリテーター 地区ラーニング
あいさつ ファシリテーター 古瀬 慎之

7. 議題 地区代表幹事 幡 宏明
①2024学年度米山記念奨学生について 【資料①】
②能登半島地震支援金について 【資料②】
③台湾東部地震支援金について 【資料③】
④ポリオプラス・ソサエティの登録者について 【資料④】
⑤2023-24年度クラブ別寄付状況 【資料⑤】
⑥ガバナー補佐報告「石倉地区ガバナー年度を振り返って」
⑦その他
8. 閉会

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
第6回地区青少年交換委員会・新旧引継会 次第

日時：2024年6月8日(土) 11:00~12:00
会場：ホテル・畑 1階 ラマージュ
司会：地区青少年交換委員長 中村 寿男

1. 開会
開会のことば 地区ガバナー 石倉 貞昭
地区青少年交換委員長挨拶 2023-24年度委員長 中村 寿男
次期地区青少年交換委員長挨拶 2024-25年度委員長 吉村 充司
2. 議事
1. 2023-24年度活動報告と引継事項 2023-24年度委員長 中村 寿男
1) 2023-24年度地区青少年交換委員会活動報告 【資料1】
2) ロータリー青少年交換学生一覧表 【資料2】
3) ロータリー青少年交換学生フライト情報 【資料3】
4) 2023-24年度ホストクラブ報告
5) 意見交換

2. 2024-25年度活動について 2024-25年度委員長 吉村 充司
1) 2024-25年度地区青少年交換委員会委員構成について 【資料④】
2) 2024-25年度地区青少年交換委員会活動【案】について 【資料⑤】
3) 2025-26年度ロータリー青少年交換派遣学生募集について 【資料⑥】
3. その他
3. 閉会のことば 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
4. 閉会

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
ロータリー青少年交換学生親睦会 次第

日時：2024年6月8日(土) 12:30~15:00
会場：ホテル・畑 2階 平安の間
司会：地区青少年交換副委員長 吉村 充司

1. 開会のことば 地区ガバナー 石倉 貞昭
2. 青少年交換受入学生へ終了証贈呈 プレゼンター 石倉 貞昭
青少年交換派遣学生へプレザー贈呈 プレゼンター 石倉 貞昭
3. 乾杯 地区ガバナーエレクト 榊原 敬

4. ショート・スピーチ
※青少年交換受入学生・ホストクラブ・ホストファミリー 挨拶
※青少年交換派遣学生プレゼンテーション
※青少年交換派遣学生保護者・スポンサークラブ 挨拶
5. 閉会のことば 地区ガバナーノミニ 坂口 元昭

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
ローターアクトリーダーシップフォーラム

日 時：2024年6月15日(土) 12:30~15:00
場 所：米子商工会議所
ホスト：米子ローターアクトクラブ

1. 開会式
開会点鐘 地区代表 小野 竜也
開会宣言 地区幹事 中田 篤志
ローターアクトソング斉唱
ローターアクト綱領唱和
参加ロータークラブ・ローターアクトクラブ紹介
挨拶 地区代表 小野 竜也
地区代表 小野 竜也
地区RA委員長 大内 茂 様
米子RAC会長 林 敬人

2. メインプログラム
3. 休憩
4. 閉会式
講評 地区RA委員長 大内 茂 様
総評 地区代表 小野 竜也
閉会挨拶 米子RAC会長 林 敬人
閉会宣言 地区幹事 中田 篤志
閉会点鐘 地区代表 小野 竜也
5. 写真撮影

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区 2023-24年度・2024-25年度合同地区危機管理委員会 次第

日時：2024年6月22日(土) 16:00~17:30
会場：(松江) 石倉貞昭地区ガバナー事務所
(岡山) ANAクラウンプラザホテル岡山
司会：地区青少年交換委員長 中村 寿男

- 開会挨拶 2023-24年度地区危機管理委員会委員長 友末 誠夫
出席者自己紹介
- 報告【災害時の相互支援について】
地区青少年交換委員長 中村 寿男
- 講話 地区青少年奉仕・RYLA委員長 天野 正道
(1) 地区危機管理委員会の対応について

- (2) ハラスメントについて
- (3) プライバシー・個人情報保護について
- 意見交換
- 閉会挨拶 2024-25年度地区危機管理委員会委員長 石倉 貞昭

2024-25年度 国際ロータリー第2690地区 地区研修・協議会

日時：2024年4月7日(日) 11:00~17:00
会場：岡山コンベンションセンター
司会：次期地区副代表幹事 仁木 壮

- 本会議
- 点鐘 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
 - 開会の言葉 次期地区代表幹事 西川 智晴
 - 国歌「君が代」斉唱 ソングリーダー 畑島 美緒
 - ロータリーソング「奉仕の理想」
 - ホストクラブ会長あいさつ 岡山南RC会長 延原 正浩
 - ご来賓紹介 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
 - 次期地区ラーニングファシリテーター紹介 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
 - 現地区役員・次期地区役員並びに次々期地区役員紹介 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
 - 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 石倉 貞昭
 - 地区代表幹事報告 地区代表幹事 幡 宏明
 - 地区会計長報告 地区会計長 森脇 宏
 - 地区ガバナーエレクト基調講演 地区ガバナーエレクト 榊原 敬

部門別協議会

全体会議

- 2022-23年度ロータリー財団認証バナー贈呈
直前ガバナー 友末 誠夫

- 地区ガバナーノミニーマいさつ 地区ガバナーノミニーマ 坂口 元昭
- 次期地区代表幹事あいさつ 次期地区代表幹事 西川 智晴
- 次期地区会計長あいさつ 次期地区会計長 永山 久人
- 次期地区世界社会奉仕プロジェクト申請について 地区世界社会奉仕委員長 古瀬 俱之
- 部門別協議会報告 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- 幹事部門 次期地区代表幹事 西川 智晴
- 職業奉仕部門 次期ガバナー補佐 真嶋 茂
- 社会奉仕部門 次期ガバナー補佐 浜崎 晃
- 国際奉仕部門 次期ガバナー補佐 小林 柁弘
- 青少年奉仕部門 次期ガバナー補佐 江木 修二
- 次期地区ラーニングファシリテーター所感 次期地区ラーニングファシリテーター代理 庄司 尚史
- 謝辞 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- 2024-25年度地区大会について 次期地区大会実行委員長 塚本 博視
- 閉会の言葉 岡山南RC会長エレクト 田村 陽久
- 点鐘 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- お知らせ SAA 次期地区庶務幹事 木原 章雄

2024-25年度 国際ロータリー第2690地区 クラブ活性化ワークショップ

日時：2024年5月12日(日) 13:00~15:30
会場：岡山コンベンションセンター
3Fコンベンションホール
司会：次期地区副代表幹事 黒瀬 仁志

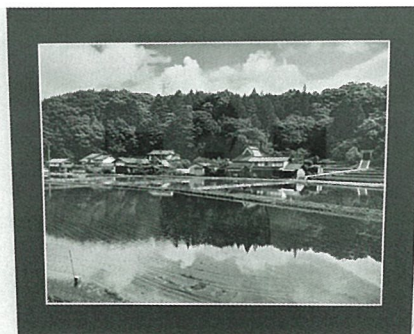
- 点鐘 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- 開会のことば 次期地区代表幹事 西川 智晴
- 国歌「君が代」斉唱 ソングリーダー 畑島 美緒
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 地区ガバナーエレクトあいさつ 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- ご来賓ならびに次期地区役員紹介 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 石倉 貞昭
- 基調講演「クラブ活性化のための会員増強」

- ロータリーコーディネーター補佐(第3地域) 杉川 聡
- 謝辞 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
- 講演「ロータリーを育てよう」 次期地区ラーニングファシリテーター 佐藤 芳郎
- 「地域に求められる奉仕活動」 地区ローターアクト代表 小野 竜也
- 岡山南ロータリー地域社会共同隊代表 延原 庸介
- 松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ議長 川井 香里
- 閉会のことば 次期地区代表幹事 西川 智晴
- 点鐘 地区ガバナーエレクト 榊原 敬

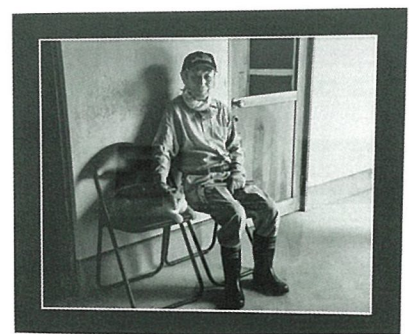
ガバナーの横顔



2023年8月31日~9月4日開催



by 石倉貞昭



by 石倉彩子

2024年 5月 地区だより

新会員紹介

井木 敏晴
倉吉東RC秋吉 満澄
鳥取北RC河本 美穂
米子東RC松原 純
米子東RC松浦 宗弘
米子東RC瀬戸 雄一
米子東RC大谷 浩
松江RC山田 泰樹
松江RC若槻 雅之
松江東RC江里口和雅
松江南RC友田 耕生
松江南RC浅田 達彦
隠岐西郷RC三島 淳
浜田RC石倉 英治
倉敷RC永田 学
真庭RC阿部 猛
津山RC松尾 力
岡山RC陶山 正人
岡山RC中野 操
岡山後楽園RC木暮 克敏
岡山南RC

[VOL.13 表紙] 葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》

天保初期(1830~34)頃、錦絵(多色摺木版画)、島根県立美術館蔵(永田コレクション)

猛々しい自然のエネルギーが画面に横溢しています。近景では曲線や斜めの線により躍動する波を描き、遠景では水平のぼかしを背景に敷いて素然とした富士の姿を浮かび上がらせています。“近と遠”、“動と静”のドラマチックな対比が本図の見所といえるでしょう。この大波は2024年7月3日から発行される新紙幣(1,000円札)のデザインに採用され、日本美術を代表する美術作品として益々親しまれることと思います。(※島根県立美術館で7月3日~8月5日まで展示)



ロータリー財団への寄付

- ベネファクター(恒久基金)
津田 謙二(笠岡RC)
- ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)
足立由里子①(倉吉東RC) 廣江 智⑥(米子RC)
小川 泰道③(江津RC) 茶円 宥勝②(浜田RC)
松村 哲也②(浜田RC) 吉岡 博②(新見RC)

クラブポリオプラス

倉吉東RC	624.20ドル(ミリオンダラーミール)
松江しんじ湖RC	200.00ドル
隠岐西郷RC	318.47ドル
出雲中央RC	359.24ドル(ポリオランチ)
井原RC	606.02ドル
総社吉備路RC	165.61ドル
(総社圏域互礼会親睦ゴルフ大会にて募金活動)	

クラブ年次基金

倉吉東RC	21.58ドル(新会員寄付)
松江RC	1605.10ドル(財団ランチ)
益田RC	1900.00ドル
笠岡RC	161.43ドル(ミリオンダラーミール)

法人寄付・年次基金

松江RC — 三菱電機(株)、松江土建(株)

法人寄付・ポリオプラス

松江RC — 松江土建(株)

米山奨学会への寄付

- 米山功労者
岩崎 陽一③④(鳥取西RC)
江口 春樹①(出雲RC) 遠藤 正博②(出雲RC)
小林 祥也①(出雲RC) 大澤 雅樹①(出雲RC)
佐藤 誠一①(出雲RC) 田原 茂穂⑤(新見RC)

クラブ普通寄付

鳥取RC — 3,000円 倉敷東RC — 70,000円

クラブ特別寄付

倉吉東RC — 95,500円(米山ランチ)
出雲南RC — 41,500円(米山ランチ)
岡山旭川RC — 360,000円(米山ランチ・米山BOX他)

編集後記

2023-24年度ガバナー月信最終号の発行となりました。

ガバナー月信発行にあたり、この1年、数多くの内容を掲載させていただけたのも、第2690地区ガバナー、ガバナー補佐、各委員会委員長、各RC会長様他、御寄稿いただきました多くの皆様方のお陰と、深く感謝申し上げます。期間が短い中での御寄稿ご協力賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。又、ご尽力いただきましたガバナー事務所関係者の方々にも感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

月信出版委員長 和田史朗

[2023-24年度月信出版委員会]

- 委員長/和田史朗 ●副委員長/高濱範子
- 委員/大内 茂、古安正好、三成芳子

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

清水 猛(備前RC)

ご逝去日/2024年5月25日
享年 92
入会日/1973年1月5日



会員数報告 (2024年 5 月)

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	5月末日	内女性会員	増 減
第1グループ	智 頭	4	5	6	0	1
	倉 吉	3	38	41	2	3
	倉吉中央	4	17	18	2	1
	倉吉東	4	46	48	5	2
	鳥 取	3	58	54	3	▲ 4
	鳥取中央	2	27	34	1	7
	鳥取北	4	45	45	7	0
	鳥取西	3	55	55	3	0
	小計（8）	—	291	301	23	10
第2グループ	境 港	3	43	45	1	2
	米 子	2	68	67	4	▲ 1
	米子中央	3	41	40	2	▲ 1
	米子東	3	102	111	16	9
	米子南	2	68	69	5	1
	小計（5）	—	322	332	28	10
第3グループ	松 江	3	60	63	1	3
	衛星クラブ	2	9	9	5	0
	松 江 東	3	49	50	4	1
	松 江 南	3	65	66	6	1
	松江しんじ湖	3	45	45	10	0
	隠岐西郷	4	26	26	2	0
	小計（5）	—	254	259	28	5
第4グループ	平 田	3	37	37	2	0
	出 雲	3	51	55	1	4
	出雲中央	3	47	47	3	0
	出雲南	3	84	83	7	▲ 1
	大 社	3	48	50	5	2
	小計（5）	—	267	272	18	5
第5グループ	江 津	4	40	42	3	2
	浜 田	4	56	56	5	0
	益 田	4	19	19	2	0
	益田西	4	31	31	2	0
	大 田	4	24	23	3	▲ 1
	小計（5）	—	170	171	15	1
第6グループ	井 原	4	37	38	1	1
	笠 岡	4	49	48	3	▲ 1
	笠岡東	4	39	40	1	1
	新 見	4	24	23	3	▲ 1
	総 社	4	14	16	2	2
	総社吉備路	3	29	31	1	2
	高 梁	3	34	36	1	2
	玉 島	4	27	28	5	1
	小計（8）	—	253	260	17	7

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	5月末日	内女性会員	増 減
第7グループ	児 島	2	15	16	0	1
	児 島 東	3	10	11	0	1
	倉 敷	4	74	76	1	2
	倉 敷 中央	3	16	18	7	2
	倉 敷 東	3	29	27	4	▲ 2
	倉 敷 南	3	57	60	3	3
	倉 敷 水 島	3	17	16	0	▲ 1
	倉敷瀬戸内	3	34	32	1	▲ 2
	小計（8）	—	252	256	16	4
第8グループ	真 庭	4	29	31	1	2
	美 作	4	26	27	2	1
	津 山	4	95	97	5	2
	津 山 中 央	4	11	12	3	1
	津 山 西	3	32	32	4	0
	小計（5）	—	193	199	15	6
第9グループ	備 前	4	41	44	7	3
	岡 山	4	113	119	5	6
	岡 山 東	4	96	96	2	0
	岡 山 北 西	3	47	48	3	1
	岡山後楽園	4	48	50	3	2
	小計（5）	—	345	357	20	12
第10グループ	岡山旭川	4	36	37	2	1
	岡山中央	4	24	25	5	1
	岡 山 北	3	49	51	4	2
	岡 山 南	3	152	160	20	8
	玉 野	4	25	25	0	0
	小計（5）	—	286	298	31	12
第11グループ	岡山備南	3	20	21	1	1
	岡 山 城	3	20	21	1	1
	岡山岡南	3	25	25	2	0
	岡山丸の内	4	50	51	4	1
	岡 山 西	3	66	73	14	7
	岡山西南	3	48	53	7	5
	小計（6）	—	229	244	29	15

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年 7 月 1 日会員数	2,862 名
2024年 5 月末日会員数	2,949 名
内 女性会員数	240 名
純 増	87 名

2024年 6月 地区だより

新会員紹介



ロータリー財団への寄付

- ベネファクター（恒久基金）
板野 充典（津山西RC）
- ポール・ハリス・フェロー（ポリオプラスへの寄付）
鳥越 貞成⑥（岡山後楽園RC）
- 延原 正⑩～⑪⑤（岡山南RC）
- ポール・ハリス・フェロー（年次基金への寄付）
金森 実①（倉吉RC） 沖 礼②（倉吉RC）
八渡 和仁①（倉吉RC） 安陪 幸伸①（鳥取中央RC）
荒田潤之介①（鳥取中央RC） 松下 光昭②（鳥取中央RC）
久保田英治①（浜田RC） 鶴田 英也②（浜田RC）
三宅 典一⑩（倉敷南RC） 長沼 徹①（倉敷瀬戸内RC）
中村 正①（倉敷瀬戸内RC） 中山田英樹①（倉敷瀬戸内RC）
佐藤 浩明①（倉敷瀬戸内RC） 本郷 紀之①（真庭RC）
植田 泰道①（真庭RC） 安田 寛①（岡山RC）
長谷 博明⑦（岡山後楽園RC） 種田 和英③（岡山西RC）

クラブポリオプラス

倉吉RC	545.84ドル	鳥取中央RC	84.08ドル
隠岐西郷RC	318.47ドル	江津RC	102.04ドル
益田西RC	1481.31ドル		
新見RC	444.56ドル（世界ポリオデー募金活動）		
児島RC	450.00ドル	倉敷RC	968.15ドル
倉敷水島RC	245.00ドル	真庭RC	100.00ドル
岡山南RC	463.44ドル（END POLIO NOW お茶席募金箱）		
岡山城RC	600.00ドル	岡山岡南RC	213.38ドル
岡山西南RC	1528.66ドル		

クラブ年次基金

智頭RC	100.00ドル
鳥取RC	12.74ドル
鳥取中央RC	165.35ドル（ミリオンダラーミール）
鳥取西RC	141.89ドル（ミリオンダラーミール）
米子RC	5414.01ドル
平田RC	772.13ドル（ミリオンダラーミール）
出雲南RC	22.00ドル（新会員寄付）
浜田RC	463.50ドル（ミリオンダラーミール）
笠岡東RC	351.59ドル（ミリオンダラーミール）
笠岡東RC	254.76ドル（ゴルフ同好会寄付）
岡山RC	1631.08ドル（ミリオンダラーミール、新会員寄付）
岡山東RC	2927.26ドル（ミリオンダラーミール、財団BOX、新会員寄付）
岡山北西RC	923.57ドル（ミリオンダラーミール）
岡山北RC	860.57ドル（ミリオンダラーミール、1ドル寄付、10ドル寄付）
岡山城RC	809.55ドル（財団BOX）
岡山岡南RC	181.65ドル（財団BOX）
岡山西南RC	395.33ドル（財団BOX）

法人寄付・ポリオプラス

浜田RC — 旬クボタ牛乳

地区・ポリオプラス

2550.08ドル — 第3第4第5グループIM
210.19ドル — 第7グループ合同ゴルフコンペ
63.69ドル — 松本京子様

米山奨学会への寄付

- 米山功労者
本内 俊彦①（倉吉RC） 菅埜 元晴①（倉吉RC）
船本 源司①（鳥取RC） 安陪 幸伸①（鳥取中央RC）
荒田潤之介①（鳥取中央RC） 藤田 泰央①（鳥取中央RC）
道田 章仁②（鳥取中央RC） 楠 明彦⑤（米子東RC）
長谷川隆嗣③（津山RC） 勝山 敏①（津山RC）
松田 欣也①（津山RC） 友末 誠夫③（津山RC）
田淵 浩①（津山西RC） 藤本 久行①（備前RC）
清水 猛④（備前RC） 相原 利行④（岡山北西RC）
入江 直人①（岡山北西RC） 川西 熊雄②（岡山北西RC）
小山 孝也②（岡山西RC）

クラブ特別寄付

鳥取RC	17,000円（米山ランチ）	鳥取中央RC	25,080円（米山ランチ）
鳥取西RC	103,200円（米山ランチ）	米子RC	580,000円
松江しんじ湖RC	30,000円（米山ランチ）	出雲南RC	10,000円（新会員寄付）
出雲南RC	35,007円（米山BOX）	笠岡RC	25,344円（米山ランチ）
笠岡東RC	40,000円（ゴルフ同好会寄付）	岡山東RC	84,819円（米山BOX）
玉野RC	48,750円（米山ランチ）	岡山岡南RC	36,345円（米山BOX）
岡山岡南RC	30,855円（米山ランチ）	岡山丸の内RC	7,837円（米山BOX）
岡山西南RC	77,573円（米山BOX）	岡山西南RC	150,645円（米山ランチ）

会員数報告 (2024年 6月)

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	6月末日	内女性会員	増 減
第1グループ	智 頭	4	5	6	0	1
	倉 吉	3	38	40	2	2
	倉吉中央	4	17	18	2	1
	倉吉東	3	46	48	5	2
	鳥 取	3	58	48	3	▲ 10
	鳥取中央	2	27	32	1	5
	鳥取北	3	45	45	7	0
	鳥取西	3	55	54	3	▲ 1
	小計（8）	—	291	291	23	0
第2グループ	境 港	3	43	43	1	0
	米 子	3	68	67	4	▲ 1
	米子中央	2	41	39	2	▲ 2
	米子東	2	102	110	14	8
	米子南	3	68	68	5	0
	小計（5）	—	322	327	26	5
第3グループ	松 江	3	60	57	1	▲ 3
	衛星クラブ	2	9	8	5	▲ 1
	松 江 東	3	49	51	4	2
	松 江 南	3	65	66	6	1
	松江しんじ湖	3	45	41	10	▲ 4
	隠岐西郷	3	26	27	2	1
	小計（5）	—	254	250	28	▲ 4
第4グループ	平 田	3	37	35	2	▲ 2
	出 雲	3	51	53	1	2
	出雲中央	3	47	47	3	0
	出雲南	3	84	80	6	▲ 4
	大 社	3	48	49	5	1
	小計（5）	—	267	264	17	▲ 3
第5グループ	江 津	3	40	41	3	1
	浜 田	3	56	56	5	0
	益 田	4	19	20	2	1
	益田西	3	31	32	2	1
	大 田	3	24	23	3	▲ 1
	小計（5）	—	170	172	15	2
第6グループ	井 原	4	37	35	1	▲ 2
	笠 岡	4	49	47	3	▲ 2
	笠岡東	4	39	39	1	0
	新 見	3	24	20	3	▲ 4
	総 社	3	14	15	2	1
	総社吉備路	3	29	30	1	1
	高 梁	3	34	34	1	0
	玉 島	4	27	27	5	0
小計（8）	—	253	247	17	▲ 6	

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	6月末日	内女性会員	増 減
第7グループ	児 島	2	15	13	0	▲ 2
	児 島 東	3	10	10	0	0
	倉 敷	3	74	75	1	1
	倉 敷 中央	3	16	18	7	2
	倉 敷 東	3	29	24	4	▲ 5
	倉 敷 南	3	57	57	3	0
	倉 敷 水島	2	17	16	0	▲ 1
	倉敷瀬戸内	3	34	26	1	▲ 8
	小計（8）	—	252	239	16	▲ 13
第8グループ	真 庭	3	29	31	1	2
	美 作	4	26	26	1	0
	津 山	4	95	94	5	▲ 1
	津 山 中央	3	11	12	3	1
	津 山 西	4	32	33	4	1
	小計（5）	—	193	196	14	3
第9グループ	備 前	4	41	44	7	3
	岡 山	4	113	114	5	1
	岡 山 東	4	96	98	2	2
	岡 山 北 西	4	47	47	4	0
	岡山後楽園	4	48	50	3	2
	小計（5）	—	345	353	21	8
第10グループ	岡 山 旭 川	4	36	35	2	▲ 1
	岡 山 中央	4	24	25	6	1
	岡 山 北	3	49	51	4	2
	岡 山 南	4	152	156	20	4
	玉 野	4	25	25	0	0
	小計（5）	—	286	292	32	6
第11グループ	岡 山 備 南	4	20	20	1	0
	岡 山 城	4	20	19	1	▲ 1
	岡 山 岡 南	4	25	24	2	▲ 1
	岡山丸の内	4	50	48	4	▲ 2
	岡 山 西	4	66	72	14	6
	岡 山 西南	4	48	51	7	3
	小計（6）	—	229	234	29	5

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年 7月1日会員数	2,862 名
2024年 6月末日会員数	2,865 名
内 女性会員数	238 名
純 増	3 名



国際ロータリークラブ第2690地区
石倉貞昭地区ガバナー事務所

〒690-0852 島根県松江市千鳥町 36 番地 宍道湖しじみ館
TEL : 0852-26-2690 FAX : 0852-26-2691
E-mail : ishikura2690@theia.ocn.ne.jp
https://ri2690.org

